

文部科学省

「学校における外国人児童生徒等に対する  
教育支援に関する有識者会議」第4回会議資料

# 日系定住外国人第二世代の 大学生による発信の背景 －浜松市における概略－

2016年3月7日(月) @文部科学省第2講堂

静岡文化芸術大学 文化政策学部

国際文化学科教授 池上重弘

<http://wwwt.suac.ac.jp/~ikegami/>

池上重弘研究室

検索

# 1 ブラジル人第二世代の進学

- 2000年国勢調査のオーダーメイド分析より[鍛冶 2011]
  - ブラジル国籍の高校在学率が極端に低い
  - 大学在籍率は男女ともほぼ0%
- 2010年国勢調査のオーダーメイド分析より[高谷他 2015]
  - ブラジル国籍でも大学進学を果たす者が確認できる
  - (夢ではなく目標として)大学進学を志す時代が到来
- 静岡県教育委員会の非公開資料より
  - 県内の進学校(全日制)にもブラジル籍の生徒が在籍
- 静岡県西部地域の大学では在籍の情報も[池上 2014a]
  - しかし在籍状況の制度的・体系的把握は困難
- 【参考】ブラジル人学校出身者が日本で大学進学する傾向も[鎌田 2015]
  - 日本国内でブラジル人学校を卒業した生徒たちが、日本の大学卒業資格取得を目指すようになっている。
  - こうした傾向が見られるようになってきたのは最近のことで、彼らはブラジル本学への帰国を前提にブラジルの初等教育と中等教育を受けてきたにもかかわらず、計画を変更して日本に定住しようとしている。

## 2 浜松市における教育の現状と取り組み (詳細は浜松市教委提供資料を参照)

- 外国籍児童生徒の53%がブラジル籍
  - 一方、フィリピン籍の増加傾向が顕著
- 日本生まれ日本育ちが増える傾向
  - 2014年4月の小1は69%が日本生まれ日本育ち
- 浜松市立高校にインターナショナルクラス
  - 進学を目指す教育
- 市内2ヶ所でステップアップクラス
  - 外国人中学生のための日本語・学習支援

# 3 静岡文化芸術大学

Shizuoka University of Art and Culture (SUAC)



- 静岡県が浜松市中心部に設置。
- 公設民営で2000年開学。2010年に県立大に。
- 2つの学部(1学年300名定員の小規模大学)
  - 文化政策学部
    - …国際文化学科、文化政策学科、芸術文化学科
  - デザイン学部
    - …デザイン学科
- 国際文化学科に日系ブラジル人の教授。
- 日系ブラジル人の准研究員。
- 現在約十数名のブラジル人第二世代の学生が在籍。

# 4 静岡文化芸術大学の南米系第二世代の学生たち

入学年度	文化政策学部	デザイン学部
2006	1	
2007		
2008		2
2009		
2010		
2011	2	
2012	4	
2013	4	
2014	4	
2015	2	

- ◇ 外国人入試枠なし
- ◇ 2006年度に初めて入学
- ◇ 2011年度以降、毎年数名
- ◇ 地域活動の担い手としても活躍

**はままつグローバルフェア**  
国にルーツを持つ若者のトークイベント×音楽ライブ  
**可能性へ向けての RESTART 再出発**

ブラジル、フィリピン、ペルー、ベトナムにルーツを持つ  
大学生・社会人たちが  
日本での学校生活・習慣・言語の違い  
自分が持つアイデンティティ  
そして、様々な困難を乗り越えてきた経験や思いを語ります。

**2月10日(日)**  
無料 11:00-13:00  
クリエイト浜松 2階ホール中區早馬2-1  
\*お問い合わせ先\*  
(公財) 浜松国際交流協会(HICE)  
TEL: 053-458-2170

**SUNCHILD ゲスト出演決定★**  
「太陽の子ども」を原案とする、太陽のような唯一の存在をコンセプトにグッドミュージックを届ける音楽仲間が集まり、バンドリーダーのThiago(vo/p)は、ブラジル(SP)生まれで、10歳のときに来日。そのルーツ同様、色彩豊かな発想で、SUNCHILDのコンセプトでもある「独創的で良質な音楽(good music)」を追求している。さまざまなジャンルの音楽をミックスし、独自の音楽スタイルを追求。2012年夏に東京で行われたワンマンライブは好評を博した。現在1stミニアルバム「RISING」を録音発売中。2013年1月20日下北沢regでライブが決定!!!

はままつグローバルフェア(2013年2月10日)

# 5 バイリンガル絵本プロジェクト

ブラジル人学生による家庭訪問ヒアリング[池上 2014b]

静岡文化芸術大学のブラジル人学生がバイリンガル絵本でつながったブラジル人小学生の家庭を訪問。質問紙を用いたポルトガル語でのヒアリング調査を通して、子どもの進学をめぐる保護者の考えを探る。

## 実践研究としての3つの目的

### 【目的1】 保護者にとって

ブラジル人の子どもの日本での教育達成の具体例を知る

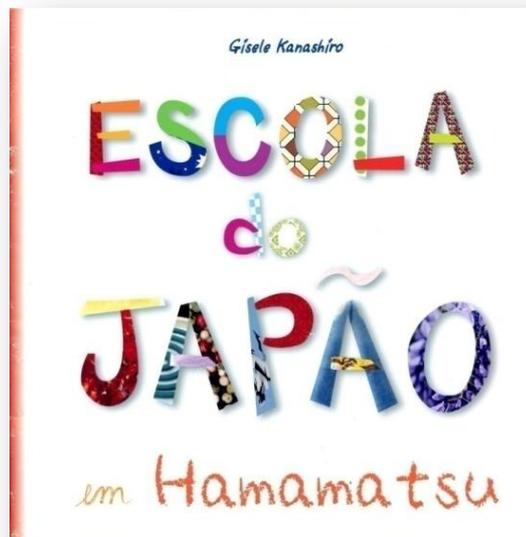
### 【目的2】 小学生にとって

ロールモデルとの出会いが学びの動機を高める

ロールモデルのデリバリー

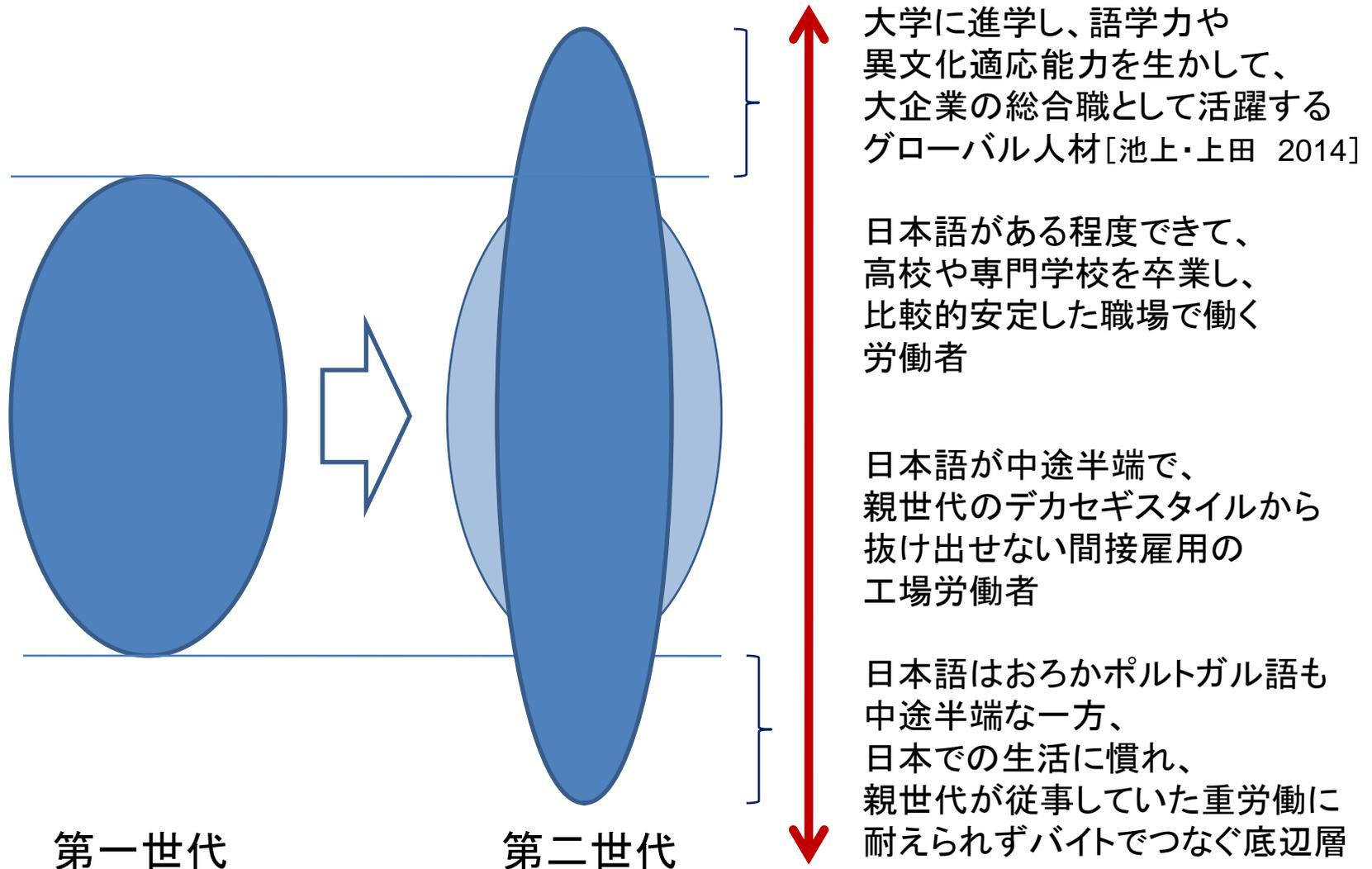
### 【目的3】 大学生にとって

自分の持つバックグラウンドの社会的意義を実感しエンパワーメント



NHK静岡放送局「たっぷり静岡」

## 6 ブラジル人第二世代の格差拡大のモデル



# 参考文献

- 池上重弘. 2014a. 「定住外国人学生の修学実態調査報告ー静岡県西部地域の大学を中心にー」『静岡文化芸術大学研究紀要』14:97-100.
- 池上重弘. 2014b. 「浜松市における多文化子ども教育フォーラムとバイリンガル絵本プロジェクトー移住第2世代の活躍に焦点をあててー」『国際人流』27(6):4-11.
- 池上重弘・上田ナンシー直美(編).2014.『第6回多文化子ども教育フォーラム ポルトガル語での討論会Ⅳー日本の大学に進学したブラジル人たちの経験から学ぼうー報告書』静岡文化芸術大学
- 鍛冶至. 2011. 「外国人の子どもの進学問題ー貧困の連鎖を断ち切るためにー」移住連貧困プロジェクト『日本で暮らす移住者の貧困』移住労働者と連帯する全国ネットワーク、38-46.
- 鎌田ファチマ. 2015. 「ブラジル人にも身近になった日本での大学進学ーブラジル人学校と大学の提携は日本の大学入学のための一つの選択肢に」『Brasil』在日ブラジル商業会議所、42-47.
- 高谷幸、大曲由起子、樋口直人、鍛冶至、稲葉奈々子. 2015. 「2010年国勢調査にみる外国人の教育ー外国人青少年の家庭背景・進学・結婚」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』39:37-56.